校内研修計画

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　山梨市立笛川小学校

1　学校課題

　 本校の児童は、元気で素直な児童が多く、全体的に前向きな気持ちで学校生活を過ごしている姿が見られる。地域や家庭における学校教育への関心は高く、様々な教育活動へのかかわりからも実感することができる。しかし、一人一人の子供たちが置かれている状況は多様であり、学校課題として対応していく必要性がある。

　 学習においては、課題に対して興味や関心をもちながら意欲的に学ぼうとする児童が多い。しかし、集中力や持続力、指示の理解、基礎・基本の定着や表現力等には個人差があり、個別の支援を必要とする児童がいる。令和5年度のNRTの結果分析では、学年により差があるものの、知識・技能及び思考力・判断力・表現力の得点率が全体的に低いことが課題として挙げられた。また、学力のちらばりが大きい学年が複数あることも注視しなければならない。このことから、知識・理解の確実な定着や学び方を身につけるために、より一層の授業改善の必要があると考える。

2　研究主題

　　　　　　　「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る授業づくり」

～ICTの活用を通して～

３　主題設定の理由

　 学習指導要領において、子供の興味・関心を生かした自主的、主体的な学習が促されるよう工夫することを求めるなど、「個に応じた指導」が重視されている。

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）では、「学校における授業づくりに当たっては、『個別最適な学び』と『協働的な学び』の要素が組み合わさって実現されていくことが多いと考えられる。各学校においては、教科等の特質に応じ、地域・学校や児童生徒の実情を踏まえながら、授業の中で『個別最適な学び』の成果を『協働的な学び』に生かし、更にその成果を『個別最適な学び』に還元するなど、『個別最適な学び』と『協働的な学び』を一体的に充実し『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善につなげていくことが必要である。」と記されている。

　 また、令和6年度山梨県学校教育指導指針では、子供主体の授業観の転換を打ち出し、「多様な他者と協働したり、自ら自己調整したりして学習を進めていく『子供主体』の授業への転換が図られることにより、子供一人ひとりの関心・意欲や特性にもとづいた学びを実現すること」及び確かな学力の育成として、「学習指導要領の趣旨を踏まえた、『個別最適な学び』と『協働的な学び』を一体的に充実し、『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善及び評価に取り組み、新しい時代に必要となる資質・能力の育成に努める」ことを掲げている。先述した学校課題や、社会的な要請に鑑みて本研究主題を設定した。

　 本校は、日本学校歯科医会より令和5・6年度「生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業」の研究指定を受け、研究に取り組んでいる。昨年度は、研究主題「歯・口の健康づくりのために、主体的に考え、行動する児童の育成」～プログラミング的思考の活用を通して～」として研究を進めてきた。すべての子供たちが健康で豊かな生活を送るため、その重要性や順序性を論理的に考え、実践につなげることができるように指導内容の工夫と学習環境の整備に取り組んだ。児童の主体的な活動の場として児童会活動や委員会活動で積極的に取り組み、「歯と口の健康づくり」についての意識が高まった。今年度は、これまでの取組を精査するとともに、日常化を図ることをめざしている。また、２年の研究のまとめとして研究授業を行い、ICTを活用しながら個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る授業について研究を進めていきたいと考える。

４　研究の具体的内容と方法

　（１）研究の内容

　　 　・「個別最適な学びと協働的学びの一体的な充実」にかかわる授業構想について(理論研究)

・WEBQUアンケートやNRT検査の実施・結果分析から自校の現状や課題を把握する。

・授業実践を通して、研究の成果と課題を明らかにし、今後の指導に生かす。

(２)研究の方法

　　　 ・講師、指導主事を招聘しての学習会

　　 　・授業研究及び研究会

　　 　・研究授業(１学期・「歯・口の健康づくり」第４学年相澤教諭・丸山養護教諭)

　　 　・一人一実践の参観

５　年間研修計画

　　◎「歯・口の健康づくり」研究授業

　　◎WEBQU分析(低・高ブロック)

　　◎ICTにかかわる研修会

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 回数 | 月 | 日 | 曜日 | 内　容 |
| 1 | ４ | 10 | 水 | 研究の方向性　研究主題・研究内容・研究計画等について① |
| 2 | ４ | 17 | 水 | 研究主題・研究内容・研究計画等について②  ICTにかかわる研修会 |
| 3 | ４ | 24 | 水 | エピペン講習会 |
| 4 | ５ | 22 | 水 | 指導主事を招聘しての学習会  総合教育センター　主幹・指導主事　中村　忠廣先生 |
| 5 | ５ | 29 | 水 | 指導案検討 |
| 6 | ６ | 19 | 水 | 「歯・口の健康づくり」研究授業・研究会  　指導主事招聘 |
| 7 | ７ | 3 | 水 | 「歯・口の健康づくり」研究のまとめ発表・全体検討 |
| 8 | ７ | 10 | 水 | WEBQUアンケートの結果分析（低・高ブロック） |
| 9 | ８ | 21 | 水 | 特別支援に関わる研修会・ICTにかかわる研修会  教育課程還流報告 |
| 10 | ９ | ４ | 水 | 部会研究 |
| 11 | ９ | 25 | 水 | 部会研究 |
| 12 | 10 | 23 | 水 | 全体会（自主学習の取組・進捗状況について）部会研究 |
| 13 | 10 | 30 | 水 | WEBQUアンケートの結果分析（低・高ブロック） |
| 14 | 12 | 18 | 水 | 本年度のまとめ・部会研究のまとめについて |
| 15 | 1 | 22 | 水 | 研究の成果と課題・来年度の方向について |
| 16 | 2 | 19 | 水 | 研究紀要作成（校閲・修正作業） |